

ファイターズ北広

舞台裏で進む30万人パレード

祝宴はエスコンで

島V1へ

分割ロードプラン



▲名護市のさくらの女王に囲まれて笑顔の上野正三市長

島でパレードをやりたい」と応えた。

交流会の前にJR北広島駅前で開かれた名護市の物産販売イベントには北広島市の上野正三市長が訪れ、名護市のさくらの女王と懇談するなどファイターズ

ズでつながる両市の結束が強まっている。

日ハムの小村社長の言葉を聞いた北広島市幹部は苦笑いを浮かべながら話す。

「大変なことになりますよ。ここに30万人も来たらどうなりま

す？そのくらい集まるかもしれません」

30万人というのは、2023年に阪神タイガースが日本一になった時の御堂筋でのパレードの観客数だ。まさかそこまで多くはないとは見られるが、ファイターズが2016年11月20日に日本一になった時のJR札幌駅前からススキノまでの駅前のパレードは主催者発表で2006年の15万人に次ぐ13万8000人が押し寄せた。パレードは札幌駅前の北3条広場前を出発し、駅前通を南進しススキノ交差点までの約1キロを1時間以上かけて進んだ。紙吹雪がビル街に舞った。

この時の本拠地球場は札幌ドーム。球場ま

「夢は正夢」は栗山英樹氏（日ハム球団チーフ・ベ이스ボール・オフィサー）がサインする際に色紙に添える言葉。2025シーズンのファイターズは、まさに夢が実現しつつある。

旧札幌ドーム（現・大和ハウスプレミストドーム）を出て北広島市の新球場に移って3シーズン目。「世界」のエスコンフィールド

HOKKAIDOで歓喜の瞬間を迎える日が近づいている。

「パレード」の言葉が公式の場で出たのが、エスコンで5月22日にソフトバンク戦が行われる前に開かれた沖縄県名護市の経済関係者らとの交流会だ。

この日、道内外の企業や団体でつくるファイターズの応援組織「北海道日本ハムファイターズを応援する

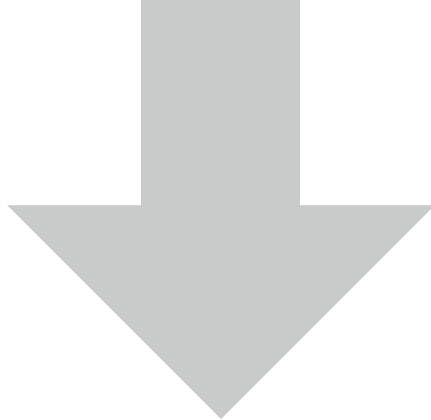
会」の交流会に春のキャンプ地の沖縄県名護市の経済関係者らを含めた約100人が参加し、2016年以来、9年ぶりとなる日本一に向けて結束を誓った。

挨拶に立った名護市の渡具知武豊市長は「現在はリーグ1位で好調。われわれの応援が追い風となって、引き続き球団を勢いづきたい」とエール。北海道日本ハムファイターズの小村勝社長は「今年は必ず優勝して北広

「夢は正夢」なるか

北海道日本ハムファイターズの北広島V1が現実のものになりつつある。プロ野球は6月から交流戦に入り、ファイターズはカード初戦の阪神戦、DeNA戦を負け越したがパ・リーグ首位（6月8日現在）を走り、本拠地が北広島市のエスコンフィールドHOKKAIDOに移ってから初のリーグ優勝、日本一へと夢が膨らむ。舞台裏で準備が進む30万人パレード、ファンとともに盛り上がるエスコン祝勝会とは。

（ジャーナリスト 黒田 伸）



続きは『**月刊クオリティ**』本誌を
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから
<https://qualitynet.co.jp/koudoku/>

○お電話でのお申し込みはこちらから
TEL 011-644-0101
(9:00 ~ 17:30 土日・祝日をのぞく)